

〔倭名類聚抄十ニ油瓶。内典云爾時復有諸沙門等、手自作食執持油瓶、良加米不

〔書言字考節用集七〕油瓶。

〔アラツギ〕油注子。

〔又云〕油瓶。

〔和漢三才圖會三十ニ油瓶。

〔アラツギ〕油注子。

〔俗云〕阿布。

〔油瓶盛燈物置燈臺、磁器或銅可作、

〔續古事談一王道后宮〕後冷泉院御時、主殿寮ヤケ、ル時、アマクダリタル油漏器。ヤケニケリ、賀陽親王ヨレヲウツシツクリタリケレドモ、功用ホドコス事ナシ、夫モ同ジクヤケニケリ。

〔今昔物語二十七〕鬼現油瓶形殺人語第十九

今昔、小野ノ宮ノ右大臣ト申ケル人御ケリ、御名ヲバ實資トゾ申ケル、身ノ才微妙心賢ク御ケレバ、世ノ人賢人ノ右ノ大臣トゾ名付タリシ、其ノ人内ニ參テ罷出トテ大宮ヲ下ニ御ケルニ、車ノ前ニ少サキ油瓶ノ踊ツ、行ケレバ、大臣此ヲ見テ糸恠キ事カナ、此ハ何物ニカ有ラム、此ハ物ノ氣ナドニコソ有メレト思給テ御ケルニ、大宮ヨリハ西、□ヨリハ□ニ有ケル人ノ家ノ門ハ、被閉タリケルニ、此ノ油瓶其ノ門ノ許トニ踊リ至テ、戸ハ閉タレバ、鑑ノ穴ノ有ヨリ入ラム入ラムト、度々踊リ上リケルニ、无期ニ否踊リ上リ不得ズ有ケル程ニ、遂ニ踊リ上リ付テ鑑ノ穴ヨリ入ニケリ、大臣ハ此ク見置テ返リ給テ後ニ、人ヲ教ヘテ其々ニ有ツル家ニ行テ、然氣无クテ其ノ家ニ何事カ有ルト聞テ返レトテ遣タリケレバ、使行テ即チ返リ來テ云ク、彼ノ家ニハ若キ娘ノ候ケルガ、日來煩テ此ノ晝方既ニ失候ニケリト云ケレバ、大臣有ツル油瓶ハ、然レバコソ物ノ氣ニテ有ケル也ケリ、其レガ鑑ノ穴ヨリ入ヌレバ、穀シテケル也ケリトゾ思給ケル、其レヲ見給ケム大臣モ、糸只人ニハ不御ザリケリ、然レバ此ル物ノ氣ハ様々ノ物ノ形ト現ジテ有ル也ケリ、此レヲ思フニ、怨ヲ恨ケルコソハ有ラメ、此ナム語リ傳ヘタルトヤ、
〔好色一代男〕はづかしながら文言葉